

うちゅうせん新聞

広報係 2013年1月26日発行 第3号

☆ 天文ボランティア会報 ☆

“例会”より

11月23日(金)14:00~16:00 出席者7名

会場:仙台市天文台

1. 観望会予定について

11月30日(金) 三本松市民センター
18:00~

12月22日(土) 亘理悠里館
18:30~

2. 例会&忘年会について(街中会場を検討)

12月15日に変更、場所はメールで連絡。

3. うちゅうせん新聞第2号発行

4. その他

12月15日(土)17:30~19:30 出席者10名

会場:「くいもの屋わん国分町店」

仙台時間で10分遅れでスタート。

忘年会の冒頭に例会のコーナーを設け、船長から観望会依頼と今後の予定について説明があり、その後通常の(!?)忘年会となりました。今年の天文現象や観望会、望遠鏡等、機材の話で盛り上がり、温かい鍋を囲んだ2時間があっという間に終了しました。終了後、広瀬通り交差点のカフェローチェでコーヒーゼリー等を食べながらの1時間半が二次会となりました。〈下の写真〉12/22早朝の土星だ環ん(市民広場)の参加についても話題となっていました。一番長い夜(冬至)の夜明け前。はたしてどれだけの参加観望ができるのでしょうか。



☆3~4月のパンスターズ、11~12月のアイソン。なにかと“彗星”が話題沸騰の天文イヤーになりそうな新年です。2度と見ることのできないその雄姿を今年の観望会でもじっくり見ていきましょう。史上最大級の天体ショーご期待下さい!

観望会より

矢本西小学校観望会 9月21日(金) 19:30~20:00

(うちゅうせん3名、参加者100名) 晴天

曇りの予報だったんですが、雲一つ無いピーカン・月齢5.4の月は19時の開始時刻でかなり低めでしたから、体育館に入る前に月を見る事にしました。

望遠鏡は8cm屈折3台と、フィールドスコープ、それに生徒が持ち込んだ6cm屈折の5台で100人ほどに月を見てもらいました。

6cm屈折をお母さんが後ろに移動しているので、何をしているのかと思い確認したところ、月の全部が見えないので、下がったら全部入るかと思っ...との事。覗いて見たらなるほど月の半分しか見えません。割り和高倍率のアイピースが付いていたせいなんです。微笑ましい出来事ではありました。(笑)よくご説明をした事は言うに及びません。

一通り全員に月を見て貰うのに半分の30分が経過。その後場所を体育館に移し、金環日食の写真を見て貰い、引き続いての星座物語はオリオンとさそり。最後の質問コーナーでは3人から質問がありました。

今年の6年生・と言う事は一昨年4年生の時に松島自然の家で星を見せているはずなので、望遠鏡で何を見たか? 星座物語は? など質問をして見ましたが、ほとんど忘れてしまっていたようでした。天文シールは間違いなく配っているため、ご父兄を含め天体写真を参加賞として差し上げました。

えぼしスキー場観望会④ 9月22日(土) 19:00~

21:00(うちゅうせん4名、参加者47名) 曇り

開始時刻のかなり前から来場された方が多かったため、オーロラの映像を見て貰い、それでも時間が有ったので、天文クイズで時間をつぶしました。

ゴンドラで登った展望台も思った通りのドン曇。時折、夏の大三角や、カシオペア・北斗七星などが見られましたが、長続きはしませんでした。

皆さんが期待していた天の川は最後まで見る事無く終わりました。しばらく粘りましたが、回復の兆し無しと判断・下山となりましたが、全員下山まではかなりの時間が掛かりました。天体写真を並べ到着された方から順次選んでもらいました。

終了時刻まで余り時間が無かったので質問コーナーを試みましたが、質問は出ず仕舞い・皆さんシャイだったという事でしょうか?

参加者が多かったのにお天気に恵まれなかった事が残念でしたが、お天気だけはどうする事も出来ません。10月も3回ありますのでこれに懲りずにまたどうぞ!またお逢いしましょう!がお別れの挨拶になりました。



青葉中央市民センター観望会 10月6日(土) 10:30~

15:30(うちゅうせん3名、参加者150名?) 晴

こども広場~サイエンス☆フェスティバル12への参加体験学習を通しこども達に科学への関心を持って貰うのを目的に恒例で行われている行事です。中学校×3校・高校×4校・大学×2校科学クラブや科学館、東北電力などが協力参加、色んな実験説明をしていました。

太陽観測と星座物語を何回か実施する事で参加しましたが、午前中は薄雲越しに黒点を何人かに見て貰っただけ・雲には勝てずで、ビルの上のパラボラアンテナなどを持って貰いました。

流し込み方式ですから、星座物語の方はどんな基準でやればいいのかの戸惑いが有りましたが、何人だろうと来られたらやる・を結論に、女性お二人に奮戦頂きました。

小さいお子さんが見終わるや否やもう少し見たい!のリクエストにお答えする一幕も有りましたし、高校生1人に天文クイズを...なども見られました。(笑)

終了後参加者全員による反省会・記念撮影の後散会となりました。主催者側の発表によると入場者が150人で年々増加しているとのことでした。

暑い中参加した同好会、うちゅうせんのみなさんお疲れ様でした。★

えぼしスキー場観望会⑤ 10月6日(日) 19:00~

21:00(うちゅうせん3名、参加者50名) 晴

悪天候にもかかわらず21名の方がお見えになりました。ほとんどが二人組みでしたが、おいでになった場所を確認したところ、大崎市・多賀城市・塩釜市・岩沼市が一緒に来てと仙台市からのお客さんでした。

今月の星空説明に引き続き、期待はしないで下さい!と断ってからゴンドラで標高1100メートル地点に上っては見たものの、予想通り雲と霧で何も見えない状態。時折、下界の街明かりが見えたもののガス越しで、小雨まで降ってくる始末。長居は無用と下山。下でオーロラの写真を見ながら説明し、最後に天体写真を1枚選んで頂き散会となりました。

是非とも天の川が見たい・と早々次回予約をしてお帰りの方もおられたようです。

何も見えない時もありましたから、少しでも街明かりの見られた今回はそれに比べたら良しとしなければ...とは言って見たものの、慰めにもならなかった事でしょう。

えぼしスキー場観望会⑥ 10月13日(土) 19:00~

21:00(うちゅうせん2名、参加者42名) 晴

今夜の星空解説の後、晴れ間を期待しゴンドラへ。時おりうす雲を通し夏の大三角やカシオペアが見え歓声も。お約束の地上の星(仙台の夜景)をフィールドスコープで見てもらい、その後ベガを導入。諦めていたみなさんはとても喜んでくれました♪手持ち無沙汰の時間は天文雑学を話したり、「山羊座の人はいますか?」「ハーイ」もしかしておっちょこちよいですか?あははは、友達と大笑い。当たってみたいですね。気温3度、風もあり、皆さん寒~★頃合い見てゴンドラに戻り下山。

写真のお土産は優先的に選べるじゃんけん大会経由で...けっこう盛り上がりつつ楽しかったです。

蔵王自然の家観望会 10月13日(土) 19:40~

20:40(うちゅうせん5名、参加者100名) 曇り

家族対象事業(一泊二日)秋企画の親子行事の一部。あいにくの曇天で星空は見れなかったため、曇天バージョンでの実施でした。又、キャンプファイアーの後、入浴までと時間が限られているため、短縮版での実施となりました。

内容は、晴れていると見えるはずだった今日の星空から始め秋の星座がたくさん登場する星座物

観望会より 続き

語「くさりにつながれたお姫様」、次に金環日食の解説と続き、最後に「銀河鉄道の夜」の星座物語と質問(これからの流星群等)で終了しました。

帰路仙台に着くころは、星空でしたので、蔵王周辺が雲に覆われていたのでしょうか。参加された方にはせっかくのいい環境でしたが星が見れなかったという残念な結果でした。

でも、翌日には登山の予定もあり、楽しみな企画はたくさん詰め込まれているようなので楽しい親子交流体験になったと思います。ぜひ、自宅に帰ってから星空を見上げてほしいものです。

[えぼしスキー場観望会⑦ 10月20日\(土\) 18:30~20:00](#)

(うちゅうせん4名、参加者65名) 晴天

今年はお天気に恵まれない回が多かった様に思いますが、今回は珍しく?晴れてくれました。参加者はここ数年実施している中で最高の記録しました。

開始の18時45分くらいまでに8割の方が到着しましたが、全員がそろそろまで今夜見られる星座のお勉強にと、物語の「くさりにつながれたお姫さま」を話してくれました。

お天気もよさそう・と言う事で開始後は、挨拶・自己紹介を簡単にすませ、ゴンドラで山の上へ移動してもらいました。多少の雲は有りましたが、お天気は期待通りの「晴れ」。仙台をはじめ綺麗な夜景も楽しめましたし、天の川も十分に堪能してもらった事が出来ました。今回の参加者は本当にラッキーだったと思います!

私は展望台に望遠鏡を設置し、夜景・すばる・木星・アンドロメダ銀河をふるまいましたが、説明しながら肉眼で星を楽しんでもらう時間の方が長かったと思います。

担当の方の「そろそろ時間ですので・・・」の声を合図に下山が始まりましたが、お天気がいいと皆さん・後ろ髪を引かれる思いの様子でした。

[亙理図書館観望会 9月13日\(木\) 18:30~20:00\(うちゅうせん7名、参加者25名\) 晴](#)

7年間で今回が14回目だったそうですが、晴れたのはその内の5回だったそうです。思ったより晴天の確率が高かった事に驚きました。

到着直後は雲だらけの中に月の存在がやっと判ると言う状態だったのに、



開始直前には付きも木星も綺麗に見える状態まで回復したのです。曇りのち雨の予報からはまさに奇跡と言っても過言では有りませんでした。

さらに続き

挨拶もそこそこに外に出てもらい、双眼望遠鏡・ドブソニアン・フィールドスコープ・双眼鏡・屈折望遠鏡3台で月・木星・すばるを楽しんでもらいました。

その後室内に戻り、星座物語は「オリオンとさそり、プレアデスの7人姉妹と久々の2本立て、日食やオーロラの画像も見てもらい、最後は質問コーナーでお開きとなりました。

長年担当としてお世話下さった方から「3月で定年退職しますので今回が最後です」を聞かされましたが、お聞きしながら今夜晴れた訳が判った気がしました。その方へのはなむけで晴れたであろう事は容易に想像出来たと言う訳です。本当に有難う御座いました。

ずーっと室外で頑張った方も何人かおられたようです。皆様、寒い中お疲れ様でした。



★今年話題 (3月の話題の彗星)

日本でパンスタース彗星が観察しやすくなるのは、3月10日の近日点通過以降となるでしょう。この頃から、日の入り後の西の空に見られるようになります。3月下旬から4月上旬は、日の入り後の西の空、日の出前の東の空と、1日に2回見ることができるようになります。4月5日には、アンドロメダ座のM31(アンドロメダ銀河)に近づき、双眼鏡で同じ視野に入ります。

彗星の名前には、発見者の名前が、発見・報告の早い順に最大で3名まで付けられます(一部例外あり)。発見者名は、個人や観測グループ、天体観測衛星の場合などさまざまです。ただし、同じ個人やグループが複数の彗星を発見した場合などは、彗星が区別しにくくなります。そのため、個々の彗星を区別できるよう、正式には符号を付けることになっています。まず、発見された年号と、発見時期を表すアルファベット*5、その時期何番目に発見されたかを表す数字が付けられます。さらに先頭には「C/」もしくは「P/」という符号が付けられますが、「C/」は彗星として発見された場合、さらに周期彗星として確認された場合には「P/」となります。【出典】自然科学研究機構 国立天文台ホームページより

*5: 「I」を除いてA-Yの24個のアルファベット。発見時期により、1月前半=A、1月後半=B、2月前半=C、...12月後半=Yとなる。

その他の観望会レポート(夜明け編))

[土星だ環ん\(どせいだわん\)\(勾当台公園市民広場\)](#)

[12月23日\(日\)4:00\(?\)~7:00](#) うちゅうせん5名

前日予定の有志企画が天候不良により、1日ずれました。会場とした勾当台公園市民広場は冬のスケートリンクや光のページェントの出店のため、夜通し監視のため使えず、国道沿いの歩道脇で行いました。日曜日の夜明け前から、望遠鏡を持ち寄りセッティングし、朝の散歩や、早い通勤(または朝帰り!?)の市民に声を掛けて東の空を駆け上がる土星を見てもらおうとの試みで、うちゅうせんメンバーが徐々に集まり、夜明け後の空に土星や金星がとけ込み見えなくなるまで続きました。

空が暗いときはまぶしく輝いていた星が、空が白み始めることで影が薄くなり、見えなくなります。しかし、望遠鏡を通すと土星の姿がはっきり分かり、追尾することでしばらく観察ができることが、明け方の観望の楽しさであることを改めて実感しました。

星をのぞいた街行く市民も、夜明けに集まって星を見ているとは想像もせず、声をかけられてびっくり、また望遠鏡を覗いて(土星)のかわいさにびっくりといった様子でした。

クリスマスイブ・イブのかわいい思い出のプレゼントになったのでしょうか。

通常の観望会では味わえないひと時でした。

彗星の名前の見方

C/2011 L4 (PANSTARRS)



編集後記

◆ 12月23日初めて明け方の空での観望会を体験しました。その名は「どせいだわん」夜空にひときわ明るく輝く土星を観察しているうちに明るくなり肉眼では星が見えなくなってしまっても望遠鏡ではしっかりとかわいい土星の姿が確認できましたがだんだん空に溶け込むように薄くなりとても愛しく感じました。(ナベ)

◆ 12月の東北大学サイエンスカフェは、市川隆教授(天文学)によって「南極で夢見る果ての宇宙」の題目で実施されました。大気の透明度が高く晴天の多い南極に赤外線望遠鏡を建設中で、何十億年も前の銀河の全天地図の創出等が期待される、との事でした。カフェの最中に、現地派遣員の電話による報告もありました。大いなる観測成果を心待ちにしています。(今)

◆ 真冬の寒い日々がつづき、何かと出不精になりがちな昨今ですが、夜明け前にはもう春の星座が出そろい、Deep-skyの銀河めぐりに最適な季節の到来です。これから半年先を思いめぐらせ、よい新年をすごして行きたいものです。(辺2)

♥ 2013年は「天文手帳」から「星空案内ダイアリー」にメモ帳を替えました。内容としては、星空観察をはじめよう・今年の見逃せない天文イベント・全国のプラネタリウム、天文台の紹介・星空を撮影しよう・鉄道路線図などなど載っております。宝の持ち腐れにならないように活用したいと思います。(伊)

◆ 年が明けて・・・。久々に反射望遠鏡を出してみようかなあ。きっと汚れているだろうなあ。などと思っています。みなさんが、土星を見ている時に伊豆沼に行ってきました。寒かったですね。今年もよろしく!(石)



秋の観望会ピークお疲れ様でした。おかげで記事が集まり発行できました。観望会の無い冬は寂しいものです。(広報係)